

RS ウイルスワクチン接種のお知らせ

RS ウイルス感染症は RS ウイルスに感染することによって起きる呼吸器の感染症です。小さなお子さんが感染すると重症化する可能性があります。

妊娠中に RS ウイルスワクチンを接種することで、お腹の赤ちゃんに胎盤を通じて抗体を移行することで、生後の赤ちゃんを RS ウイルスから守ることができます。

当院では妊娠中に接種する RS ウイルスワクチン（アブリスボ®）の接種を行っています。

接種推奨期間	妊娠 28～36 週
料金	32,010 円

事前予約が必要となりますので、妊婦健診の際に医師・助産師にお問い合わせください。